

| | |
|--|---------------------|
| 実施日 | 平成 29 年 9 月 2 日 (土) |
| 依頼者 | 北名古屋市児童課 |
| タイトル | 「森と災害と私たちの暮らし」 |
| <p>コーディネーターへの相談内容</p> <p>○依頼者の要望</p> <p>北名古屋市子ども会連絡協議会では、北名古屋市の子ども会に所属している 4 年生～6 年生を対象に、毎年間に 3 回の子ども会研修 (1. ドッジビー研修会、2. 学習会、3. ゲームによる交流会) を行っている。そのうち、2. 学習会で、防災に関する環境の話と災害から自分の身を守ることを学ぶ講座を実施したい。</p> | |
| <p>コーディネーターの対応</p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>【講師】ForestArt 唐澤晋平氏</p> <p>北名古屋市は平坦な地形で田畑も多く、海拔が低く、2000 年の東海豪雨の際には、多数の浸水被害が生じた地域である。「森林環境問題と多発する水害・土砂災害の問題を考える」をテーマに、森林の環境、特に上流の森林荒廃が原因で土砂災害を引き起こすことを学ぶために、森林や林業の専門家で、環境学習を実施している ForestArt の唐澤晋平氏を紹介した。</p> <p>○学習内容の提案</p> <p><講師に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育として、講師の仕事内容を伝えること ・依頼者と学習のねらいを共有すること ・これまでの学習の振り返りを行うこと ・写真や図を取り入れ、視覚的にわかりやすい教材を準備すること ・児童に身近な事例を扱う授業内容にすること ・参加型の授業を行うこと <p><依頼者に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づいたこと、自分たちに何ができるかなどを考えて話し合い、意見をまとめ、発表する時間を持つこと ・児童の各代表が自分の地区の児童に伝える機会を持つこと ・学習したことが、日々の生活の中で、行動につながるように促すこと <p><その他>今後の授業で ESD を取り入れる方法について提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型の授業を行うことで、知識・情報を体感すること ・環境問題を「自分ごと」として認識し、「自分は何をすればよいのか」等について、ペア学習、グループワーク、全体討論など、話し合いの時間を持つこと ・未来の地球、未来の愛知、未来の北名古屋市の環境を想像し、どんな町、環境だったら暮らしやすいか、そのためには今何をすればよいのかについて、話し合う時間を持つこと | |
| <p><参加人数></p> <p>親子・児童：合計 61 名</p> <p><講座の結果></p> <p>講師が自己紹介で「岡崎市の森の中に住んでいる」と話し、児童は関心を示した。児童は、都市部の北名古</p> | |

屋市に住んでいるため、森と接点がなく、森の中に住んでいることの想像ができなかったようである。初めて会った児童同士ではあったが、森林の多面的機能や森林の現状を伝えるための写真や、森林に関するクイズを交えた授業に、児童の反応はとてもよく、積極的な学習姿勢、学習意欲の高まりが見えた。ペットボトルに入れた、腐葉土（ふかふかの土）と真砂土（やせた土）に同量の水を入れ、土に留まる水の量と流れ出てくる水の量を比較する浸透の実験では、土に対する興味関心が高く、臭いをかいだり、触ったりして、観察していた。実験が始まってからは積極的に参加し、グループで実験結果からの感想を言い合った。実験を通して、水の浸透がいかに大切さを体感し、腐葉土の森になるためには豊かな木々の森が必要であることを学んだ。さらに、森林の荒廃が災害リスクを高めることを理解し、健全な森林を保つためには、木を伐採して循環させること、そのためには、日本の木、愛知の木材を使うことが大切であり、そのことで森林を守り、災害を防ぐことを知った。都市部で暮らす自分たちに出来ることを考える講座となった。

(講座の様子)



コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・短い時間の中で、森の重要性を子ども達にわかりやすくお話いただき、良い学習ができました。
- ・事前に打ち合わせが細かくできたことは、とても良かったです。
- ・子どもたちに具体的にどう伝えていったらいいのかわからない「環境」について、専門知識を活かして教えていただける講師を紹介していただけ良かったです。

○外部講師

- ・満足です。
- ・打ち合わせをすることで、関係者の顔や考えが分かったので、やりやすかったです。
- ・都市部の市民や子どもに環境の事を伝える機会を増やしていきたいです。

その他

なし

| | |
|--|-----------------------|
| 実施日 | 平成 29 年 10 月 28 日 (土) |
| 依頼者 | 一宮市環境部環境保全課 |
| タイトル | 紙のリサイクルを学ぼう！「紙すき体験講座」 |
| <p>コーディネーターへの相談内容</p> <p>○依頼者の要望</p> <p>一宮市役所の環境保全課では、昨年の秋より、子どもを対象とした環境イベント「子ども環境週間～エコフェス～」を開催しており、今年は 10 月 28 日、29 日に「子ども環境体験講座」を開催することとなっている。座学だけではなく、体験を伴う講座を実施する講師を紹介してほしい。</p> | |
| <p>コーディネーターの対応</p> <p>○外部講師の紹介</p> <p>【講師】特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会 浅井久美氏</p> <p>「子ども環境体験講座」の目的は、地球温暖化の啓発であり、親子で環境について学び、体験することにより、環境問題を自分ごととしてとらえ、家庭での環境活動につなげることである。地球温暖化をテーマに家庭でできる活動として「ゴミ・資源循環・3R」を提案した。「ゴミ・資源循環・3R」の体験型学習を実施する講師として、特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会を紹介した。</p> <p>○学習内容の提案</p> <p><講師に対して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加児童が小学 1～6 年生までであるため、低学年にわかりやすい内容とすること ・写真やイラスト、クイズ等をプログラムに入れ、分かりやすく伝える工夫をすること ・体験や学びを通して、自分達に何ができるのかを考え、行動に結びつくプログラムにすること（牛乳パックの分別や 3R の行動につながる学習にする） ・なぜリサイクルが必要なのかを理解する内容とすること ・身近にできるリサイクルについて事例から学ぶこと ・紙すき体験を通して、木から紙ができる流れを学び、世界と日本のつながりについて考える内容とすること <p><依頼者に対して></p> <p>(授業前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ、資源循環について調べ学習をすること ・ごみ、資源循環について家族と話をすること <p>(授業後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気づいたこと、自分たちに何ができるかなどを考えて話し合い、意見をまとめ、発表する時間を持つこと ・学習したことが、日々の生活の中で、行動につながるように促すこと <p><その他>今後の授業で ESD を取り入れる方法について提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加型の授業を行うことで、知識・情報を体感すること ・環境問題を「自分ごと」として認識し、「自分は何をすればよいのか」等について、ペア学習、グループワーク、全体討論など話し合いの時間を持つこと ・未来の地球、未来の愛知、未来の一宮市の環境を想像し、どんな町、環境だったら暮らしやすいか、その | |

ためには今何をすればよいのかについて、話し合う時間を持つこと

<参加人数>

親子：15組35名（うち子どもは19名）

※作業がスムーズにいくよう、年齢と人数のバランスよく、5グループに分かれる。

<講座の結果>

紙と森林環境、生き物の生息環境とのつながりを学び、牛乳パックの紙すき体験を通して3Rの大切さを知り、家庭で自分にできることについて考えた。事前にリサイクルについて調べてきた児童もおり、保護者も含め、参加者はかなり熱心に講座に参加した。講師の質問に対して、積極的に手を挙げて答え、ノートに一生懸命メモを取っている児童もいた。「紙のリサイクル」クイズでは、積極的に反応し、周りの児童または保護者と相談し、挙手をしていた。3R（リデュース、リサイクル、リユース）の中でもっとも大切なのがリデュースであり、リサイクルやリユースの前に、「必要なものを買う」「ゴミになるものは買わない」というリデュースを生活に取り入れることが大切だと説明を受け、実践していくとの意見があった。

後半の紙すき体験でも受講者は説明をしっかりと聞き、楽しみながら紙すきをしていた。牛乳パックがミキサーでパルプに戻ることに多くの児童、保護者が驚いていた。「紙すきのセットがどこで売っているのか、家でもやりたい」という声も多く聞かれた。すいた紙にアイロンをかけて、水分をとばし、1枚のはがきを作成した。この体験をとおして紙がどのようにリサイクルされるかを学び、リサイクルペーパーの利用の大切さを学んだ。

紙と森林環境のつながり、紙を大切につかうこと、紙をリサイクルすること、リサイクルした紙をつかうこと、など紙の生産からリサイクルまでを体験を交えて学習した

(講座の様子)



コーディネーターに対する感想

○依頼者

- ・打ち合わせで、外部講師の活動内容も見学でき、大変参考になりました。
- ・親子で協力して紙すきを行ったことで、リサイクルについて楽しく学ぶことができたと感じました。
- ・実施後の参加者のアンケートでも満足度が高く、実施してよかったと思いました。
- ・あまり時間のない中での依頼でしたが、開催趣旨にあった講師を紹介していただきました。

○外部講師

- ・満足です。
- ・主催者側の打合せや当日対応がよかったです。
- ・学校での実施だけでなく、今回のような親子講座も意義がありよかったです。